

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 17 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/17 10:12～12:24、13:22～移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・12/15 14:22～12/17 10:04 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/17 移送予定なし

2号機タービン建屋の水位が変化しないため、一旦移送を12:24に停止。現場確認により、移送ラインの切替弁が閉まっていることを確認。また、移送ラインの漏えいがないことを確認。その後、当該弁を開き、13:22に移送を再開。

移送先	移送先の水位状況 (12/17 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,636 mm(水位上昇累計: 2,853 mm) 12/16 7:00 から 158 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 1,555 mm(水位上昇累計: 2,281 mm) 12/16 7:00 から 2 mm 上昇

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/17 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (12/16 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,225 mm (12/16 7:00 から 30 mm 上昇)	O.P.+ 4,200 mm (12/16 7:00 から 34 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 3,015 mm (12/16 7:00 から 55 mm 上昇)	O.P.+ 3,015 mm (12/15 16:00 から 81 mm 上昇)	O.P.+ 3,137 mm (12/16 7:00 から 48 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,120 mm (12/16 7:00 から 25 mm 下降)	O.P.+ 3,050 mm (12/16 7:00 から 64 mm 下降)	O.P.+ 3,293 mm (12/16 7:00 から 53 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,087 mm (12/16 7:00 から 27 mm 下降)	O.P.+ 3,104 mm (12/16 7:00 から 6 mm 上昇)

12/16 7:00 時点の数値は機器読み取り不良のため、12/15 16:00 時点の数値と比較。

<放射性物質のモニタリング>
海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	12/16	8:35	ND	0.04	0.03
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	12/16	8:20	ND	0.04	0.03

・その他、福島県沿岸2地点(12/16 採取分)および福島県沖合3地点(12/15 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (12/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	停止中(二次系停止のため)	13.0
2号機	循環冷却システム	運転中	17.0
3号機	循環冷却システム	運転中	14.2
4号機	循環冷却システム	運転中	21

【1号機】・12/17 10:23、使用済燃料プール代替冷却系において、「エアフィンクーラ盤異常」の警報が発生。現場確認により、二次系の系統圧力が低下し、循環ポンプ(A)が自動停止していることを確認。その後の詳細調査により、当該ポンプ(A)上流側に設置されている安全弁の排水ラインから水が出ていることを確認。当該弁のハンドル位置が正規の位置からずれていたことから、これを元に戻したところ、11:00 頃、排水ラインからの水漏れは停止。その後、系統の加圧操作を実施し、系統からの水漏れがないことを確認のうえ、13:39、停止した循環ポンプ(A)を再起動し、使用済燃料プールの冷却を再開。

排水ラインから漏れた水は、消火系の水(ろ過水タンクの水)であり、放射性物質は含まれていない。

使用済燃料プール冷却停止時および再開時のプール水温は 13 であり、温度上昇はなし。

【4号機】・11/29 ~ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注水・原子炉の状況> (12/17 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.7 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m ³ /h)	33.6	34.4	109.8 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.8 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約5.9m ³ /h)	62.5	66.8	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.8 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約5.8 m ³ /h)	56.1	62.9	101.6 kPaabs

【4号機】【5号機】【6号機】特に変化なし

<その他>

・10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5, 6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

以上